

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0170200455), 法人名 (医療法人社団 豊生会), 事業所名 (グループホームすぎの子 2階), 所在地 (札幌市東区東苗穂3条1丁目13番地29号), 自己評価作成日 (令和5年9月1日), 評価結果市町村受理日 (令和5年11月20日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ダイバーショナルセラピーの考えを取り入れ事業所理念である「ゆつくり、一緒に、楽しく、豊かに」を実践。ケア記録ではその方の思いをくみ取る記録を行い、日々の活動や行事、ケア計画に反映し実践しております。また、法人各事業所とも連携体制があり、医療はもちろんのこと、リハビリ、栄養、口腔ケアなどの専門職との連携を行い、最期までその人らしく、楽しみがあり穏かで安心して過ごせるように日々関わらせて頂いております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou\_detail\_022\_kani=true&JigyosyoCd=0170200455-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和5年10月16日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

(Empty box for external evaluation comments)

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 contain evaluation data for various service aspects.

## 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価              | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|-------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                   |      |  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I.理念に基づく運営</b> |      |  |   |      |                   |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | 「ゆっくり、一緒に、楽しく、豊かに」を理念とし、理念の共有の為玄関やユニットに掲示し、ケアの実践に繋げている。   |      |                   |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している   | 利用者様との散歩の際に近所のコンビニを利用したり、近所の住民と挨拶などを行っている。  |      |                   |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている   | 法人で健康教室やワクワク広場などの地域の方々も参加できる催し物を開催し、外の掲示板を利用し地域の方にも参加を呼びかけたりホームの入居者も一緒に参加することで認知症の人と触れ合う機会を作っている。 |      |                   |
| 4                 | 3    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                      | 今年度から対面での会議を再開して報告や話し合いの場を設け、事業所内で意見交換を行いサービス向上に活かしている  |      |                   |
| 5                 | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる  | 電話やメールを活用し連絡や相談を密に行うことが出来ている。   |      |                   |
| 6                 | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 定期的に資料を作成して書面やZOOMを活用しながら研修会を行い、職員全員の理解を深めて身体拘束のないケアに取り組んでいる。                                     |      |                   |
| 7                 |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                       | 定期的に資料を作成して書面やZOOMを活用しながら研修会を行い、職員全員の理解を深め、職員間でも情報の共有をして虐待防止に努めている。                               |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|--|---|------|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 利用者様を通じて学ぶ機会があり、必要な支援を受けられるように支援している。   |      |                   |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 入居前に管理者がご家族様に直接口頭や文章で理解、納得して頂けるまで説明を行い同意の元で契約している。改定時その都度口頭と文章で説明を行い理解と了承を得ている。     |      |                   |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                      | 苦情や意見、要望などがあればその都度話し合いの場を設けて各フロア、事業所全体の質の向上に努めている。                                  |      |                   |
| 11   | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 人事考課の他、定期的に行う面談やカンファレンスの中で意見を聞く機会を設け、その内容をリーダー会議の中で議論して運営に反映させている。                  |      |                   |
| 12   |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 定期的な人事考課を行い職員の評価を行い面談を行っている。個別に今後の目標を定めて、前向きに仕事に取り組む事が出来るように努めている。                  |      |                   |
| 13   |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 職員と一緒に現場に入る事や面談などで職員の力量を把握している。毎月異なるテーマの研修会を事業所内で行ったり、面談時や現場にて職員個々に助言やアドバイスをを行っている。 |      |                   |
| 14   |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 定期的な部会などで管理者同士での交流はあり、又法人内のメールなどを活用して職員を含めて情報交換を行い、お互いの事業所の質の向上に向けた取り組みを行っている。      |      |                   |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目  | 自己評価  |      | 外部評価              |  |
|----------------------------|------|---|---|------|-------------------|--|
|                            |      |   | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |   |      |                   |  |
| 15                         |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居する事前にご本人様とご家族さまと面談を行い、当施設の説明を行い、不安な事や要望などを聞きながら関係作りに努めている。                  |      |                   |  |
| 16                         |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居する事前にご本人様とご家族さまと面談を行い、当施設の説明を行い、不安な事や要望などを聞きながら関係作りに努めている。                  |      |                   |  |
| 17                         |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 入居前の面談にてご本人様、ご家族様の意向を確認し、他事業所などからの情報も得ながらサービス見極めて対応している。                      |      |                   |  |
| 18                         |      | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                           | ご本人様の主体性の尊重を一番とし、出来る事はして頂く、出来ない事は職員がお手伝いを行いながら自立支援の観点を心がけている。                 |      |                   |  |
| 19                         |      | ○本人を共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている            | 面会や外出などは自由に行っている。ご家族様来訪時にはその都度近況を報告したり、年中行事等に参加して頂いている。必要に応じて受診対応にも協力して頂いている。 |      |                   |  |
| 20                         | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                        | 面会や外出、外食などは自由に行っている。普段の日常会話や行事等に昔の馴染みの話題や事柄を取り入れる工夫をしている。                     |      |                   |  |
| 21                         |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                     | 利用者様一人一人の性格や要望、身体状況などを考慮した上で食事やアクティビティ時の座席位置を決めて、自然に利用者様がお互いに関わりを持つように配慮している。 |      |                   |  |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                     | 退去時に声掛けを行い退去後も何か困ったことがあればいつでも連絡いただけるように支援している  |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 直接、ご本人様に聞くこともあるが、普段の何気ない会話の中からその人の想いをくみ取るように心掛けている。聞き取りが困難な際にはご家族様から聞いたり、過去の生活歴から日々のケアに想いが反映出来るように取り組んでいる。 |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 直接、ご本人様やご家族様に聞いたり情報を書面に記載して頂いている。又、以前利用していた施設からの情報も提供して頂き参考にしている。  |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 利用者様1人1人の様子や体調、特変事項など毎日個人記録に記録し職員間で情報を共有している。  |      |                   |
| 26                                 | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | プラン作成時はご本人様とご家族様に施設での生活の意向を確認し、日々の生活の様子を考慮した上で職員間で意見交換を行い作成している。毎月プラン内容を見直し、その都度必要に応じて変更や追加などを行っている。       |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の記録は毎日個人記録に記録している。毎月のカンファレンスでプランの見直しを行い、必要に応じて内容の変更を行っている。   |      |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 必要に応じて法人内外の専門医療機関への相談や受診対応を行っている。  |      |                   |
| 29                                 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | 近所のコンビニや近隣商業施設を利用し、必要なものを購入したり外食を楽しんでいる。法人の夏祭りに参加し食事や催し物を楽しんでいる。   |      |                   |
| 30                                 | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                     | 受診はご本人様、ご家族様が希望する医療機関を最優先して利用している。受診時は情報提供書作成して、適切な医療が受けられるように支援している。                                      |      |                   |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                                  |      |  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31                               |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                      | 施設内に看護師は常駐していないが、週1回の訪問看護時にはその都度、特変事項を看護師に報告、相談しながら医療機関の往診や受診対応を行っている。  |      |                   |
| 32                               |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は添書や口頭で利用者様の情報を伝えている入院中は電話やメールなどで医療機関と細目に情報交換を行いながら、早期退院に向けての準備を行っている。                                     |      |                   |
| 33                               | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居の際、ご家族様には重度化の場合、終末期、看取りに関する説明を行い確認を行っている。又、体調が変化してきた際にはその都度、ご家族様と主治医、職員と話し合いを行いながら看取りを含めた今後の支援方法を決めて対応している。 |      |                   |
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | 緊急時のマニュアルを作成して職員全員に周知している。定期的に研修会を行い対応出来るようにしている。   |      |                   |
| 35                               | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | 定期的に年2階の避難訓練を事業内で実施している。  |      |                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |      |                   |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている  | お友達感覚や「お世話をしている」という姿勢でなく、利用者様の1人1人が職員たちの人生の大先輩であることを念頭に、丁寧な声掛けや配慮した対応を心掛けている。                                 |      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている   | 職員が何でも決めてしまう、やってしまう事がないように、その都度何を飲みたいのか、何を食べたいのか、どの洋服を着たいのか等を自己決定が出来るような掛け対応を行っている。                           |      |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                                   | 入浴や入床、起床時間のタイミングなど、その方のペースを可能な限り尊重して対応している。   |      |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している  | ご本人様の意向を尊重し、難しい様であればご家族様や過去の情報も参考にして嗜好や趣味に合わせた身だしなみが出来るように心掛けている。   |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|---|---|------|-------------------|
|      |      |   | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | お誕生日や行事の際には希望の食事を取り入れたり、日常的に盛り付けやおしぼりたたみ、食器拭きなどのお手伝いを職員と一緒にやっている。   |      |                   |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている         | 毎日の食事量や水分量を記録し、往診時に主治医や管理栄養士などに相談しながら、利用者様の体調を考慮しながら必要な栄養や摂取量が不足しないように食事内容を工夫して対応している。                    |      |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | 毎食後、口腔ケアを促して行って頂き、必要に応じて援助を行っている。又、定期的に歯科の往診を受けて口腔内清掃を行う方もいる。口腔内に不具合が生じた際にはその都度歯科の往診を受けて対応している。           |      |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている  | 自らトイレに行けない方、訴えがない方でも排泄パターンを把握し、職員の方からトイレ誘導の声掛けや必要に応じて援助をおこない、出来る限りトイレ内で排泄が行え、リハパンやパット使用を減らせるように取り組んでいる。   |      |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | 毎日、排便状況を確認して記録している。乳製品の提供や、運動や腹部マッサージ、医療機関と連携して腹部の状態確認と内服薬の調整を行い対応している。                                   |      |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 時間や曜日は可能な限り要望に応えられるよう対応している。利用者様に好みの湯加減を調整したり、入浴剤を使用するなどして入浴を喜んで頂けるよう対応している。                              |      |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                  | 利用者様の状況や習慣に合わせて自由に休息をとって頂いている。室温や寝具の調節が難しい方にも安眠出来るように配慮している。  |      |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている              | 主治医の指示や薬表を参考に職員は薬の内容、使用方法などを把握している。個人記録に内服や使用によつての変化を記録し、往診時にその都度報告し指示を受けて対応している。                         |      |                   |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 各個人の好きな物、出来る事を考慮しながらの日頃の関りを心掛けている。職員と一緒に食事作ったり洗濯物のたたみもの、居室の掃除等のお手伝い、好きなテレビや話題での談笑、お誕生日には主の好物を提供する等提供している。 |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|--|---|------|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                     | 毎日ではないが近所の散歩やコンビニに買い物、施設裏の畑に野菜を見て楽しんだり気分転換を図っている。又、ご家族様と外出、外食を楽しむ様子も見られている。                         |      |                   |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | お小遣いの中から近所のコンビニでお菓子を購入したり、嗜好品を配達してもらったり、定期的に新聞を購読している利用者様もいる。お金の管理は施設が行っている。                        |      |                   |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 定期的にご家族様からの電話がくる利用者様がおり、電話をつなぐと大変喜ばれている。  |      |                   |
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有フロアに季節を代表するような飾りつけを行い季節感を演出したり、室温や湿度にもその都度細目に調整して配慮している。整理整頓をして物の配置にも工夫しながら混乱や事故につながらないように配慮している。 |      |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 利用者様1人1人の性格や人間性、他者との関係性を考慮して席の配置を決めたり、必要に応じて職員が介入したり、関わりを持つことで対応している。                               |      |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 入居時には今まで使い慣れた、馴染みのある家具などを持ち込んで頂き引き続き使用して頂いている。必要に応じて利用者様、ご家族様と相談しながら新しい物も購入もしている。                   |      |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 場所が分かるように名前を名前を貼ったり、すぐに手が届くところに配置したり、障害物にならないように物の配置にも配慮して対応している。                                   |      |                   |